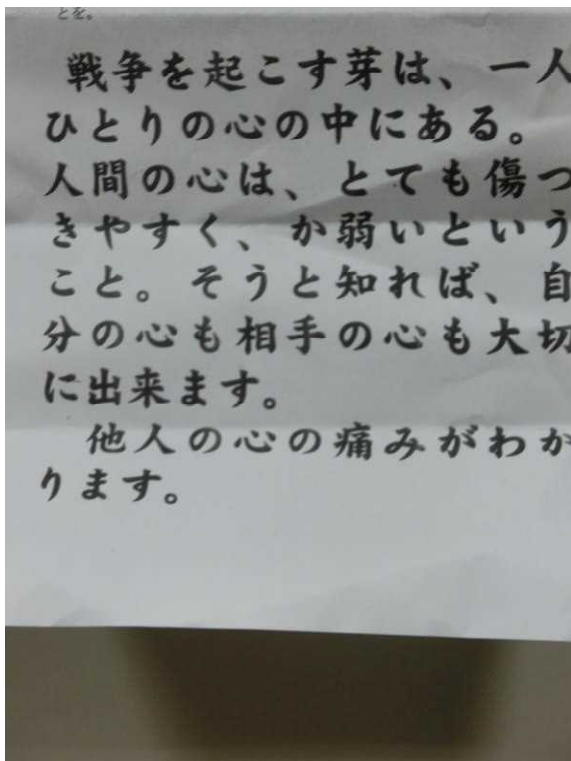


# かがやけ

# あさひ

## 校長室だより 9月



8月5日に平和登校日を行いました。今までこのような取り組みはなかったのですが、やはり、今こそ8月6日の広島原爆投下、8月9日長崎原爆投下のことも風化させないためにも、平和を今一度考えるためにも今年度から行うことにしました。最初、全校児童が体育館に集まり、今日は平和登校日であること、そして戦争のことを考える一日にすることを話しました。

福田先生による絵本の読み聞かせをしてもらいながら、平和に関するいくつかの本の紹介を行いました。

その後、私の方から、戦争でお互いの身体も心も傷つけあっても、結果何も解決はしないし、新しく生み出せるものも何もないこと。

命を大切にすること、どこまでも大切にすることを学んでほしい。自分を大切にすると同じように、他の人をどこまでも大切にしてほしいと話しました。

さらに戦争を引き起こす心の芽は誰しもがもっていること、家庭の兄弟姉妹で、またクラスの友達との関係の中で、相手を傷つけてしまう言葉や行動をしてしまうこと、自分さえよければそれでいいというように身勝手な言動、つい意地悪をしてしまう何気ない言動が、実はその戦争を引き起こす芽、根っこなのですね。だからこそ、今発している言葉や行動をふと立ち止まってみるのが大事なのです。シンプ

ルに言えば、自分が言ってもらってうれしい、励みになる言葉を相手に話していくこと、自分がしてもらってうれしい行動を相手にしてあげることが大事なのです。



最初に書いたように、戦争を起こす芽は、一人ひとりの心の中にある。人間の心はとても傷つきやすく、か弱いという

こと。そうと知れば自分の心も相手の心も大切に出来ます。他人の心の痛みがわかります。

その後、各学年、各クラスに分かれて、平和学習に取り組みました。

低学年では、児童集会の話を振り返り、8月6日に広島で何があったのかについて話し、1年生は、絵本『へいわってすてきだね』の読み聞かせをし、2年生は、『DVD おこりじぞう』を鑑賞しました。子どもたちは真剣なまなざしで話に聞き入ってくれました。

中学年では、その当時の日本の戦争のことに伝え、絵本『いわたくんちのおばあちゃん』を読み聞かせしたあと、感じたことや考えたことを、班やクラス全体で話し合いました。

高学年では、戦争や原子爆弾の怖さや残酷さを知るとともに、今の平和について考えました。原爆が落とされる前後の写真を見ることにより、その残酷さや悲惨さがより鮮明に理解できたようです。歴史の学習にもつなげてほしいと思います。

